

令和4年度通信環境調査業務仕様書

1 業務の名称

令和4年度通信環境調査業務

2 業務の内容

令和5年度以降の次世代型学力・学習状況調査の実施に向け、C B Tシステムを用いた調査を円滑に実施できるよう、対象校及び対象校を所管する市町（組合）教育委員会の通信環境を把握する。

実施対象校数は、別紙のとおり。

(1) 実測調査

令和3年度通信環境調査で得られた積算値（各市町村の通信環境を踏まえた各校での円滑なC B T調査実施に必要な積算値）を基に、対象261校のうち、令和3年度通信環境調査で実測調査を行っていない18市町（組合）教育委員会から各1校を選定し、対象校において児童生徒が実際にC B Tシステムを使用した際の校内（市町村によっては集約拠点含む）の通信環境に関する実測調査を実施する。各学校での回線及び機器配備の状況等については、受託者に情報提供する。

なお、使用するC B Tシステムは文部科学省C B Tシステム（M E X C B T（メクビット））とし、各学習eポータルログイン時から、C B Tシステムを使用し、ログアウトするまでの通信状況について調査を行うものとする。また、実測調査は学年規模での府内一斉実施を予定しており、対象261校のほか、令和4年度次世代型学力・学習状況調査研究校に対して府教育委員会から参加協力を依頼する予定である。

(2) 原因究明調査

調査実施対象261校及び令和4年度次世代型学力・学習状況調査研究校から提出された「C B Tシステムを使用した調査の終了報告書」（府教育委員会作成）及び(1)の調査結果を踏まえ、通信環境に不具合がある箇所の原因究明のための調査を実施する。調査は基本オンサイトでの対応とし、必要に応じて無線電波調査も含むこととする。実施対象箇所数は、最大24の地域及び学校を想定している。

(3) 調査結果報告

調査結果及びC B T調査を円滑に実施するための改善案について、オンライン会議において、該当市町（組合）教育委員会及び府教育委員会に報告する。

なお、調査結果報告に係る資料は、結果報告書として府教育委員会に提出する。

3 実施スケジュール

(1)(2) 令和4年6月中旬～7月中旬

(3) 令和4年7月中旬～8月上旬

4 履行期限

令和4年8月31日（水）

5 提出書類

調査実施後の結果報告書

6 その他

- (1) 実施に当たっては、担当者の指示に従うこととし、市町（組合）教育委員会でのGIGAスクール構想におけるネットワーク環境整備業務を実施した事業者と連携して業務を遂行すること。また、回線事業者の協力を得る必要がある場合は、受託者において調整を行うこと。
- (2) 学校への訪問日については、府教育委員会と相談の上、決定すること。
- (3) 府教育委員会が求める場合は、学校及び市町（組合）教育委員会向けの説明会に同席すること。
- (4) 2(2)について、実施対象箇所数に応じて経費を支払うこととする。
- (5) 本仕様書に定めのない事項又は本仕様書について疑義が生じた事項については、その都度協議して定めるものとする。